



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

News Release

平成29年9月19日

「第4回物流業界インターンシップ」を開催

(一社)日本物流団体連合会(田村修二会長)は、平成29年9月4日～8日の5日間、ベルサール六本木を主会場として、会員企業32社と共同で、「第4回物流業界インターンシップ」を開催し、約130名の学生が参加した。

物流連では、学生が普段見ることができない物流現場における業務体験を通じて、物流業の社会的重要性や先進性に対する理解を深め、業界の魅力を感じてもらおうと共に、自己の職業意識の育成を図る機会を提供することを目的として、平成26年9月より毎年この時期に5日間のインターンシップを開催している。

初日の午前中は、参加者全員を集めたオリエンテーションとして、物流連 与田理事長の開会の挨拶の後、物流いいとこみつけ隊3名による学生に対するメッセージ、物流連 松田事務局長による物流業全般の基礎知識習得のための講演会が行われた。続いて、参加企業32社が構えるブースに、学生が自由に訪問できる業界研究セミナーが全7クール(各クール30分間)行われた。学生は興味のある企業ブースを訪れ、多種多様の業種で構成される物流業について多角的に情報収集を行った。同日最後には、翌日以降訪問する企業ブースでの注意事項等の確認が行われ、初日のプログラムを終了した。

2日目～4日目は、各企業での訪問・体験期間であり、参加学生に物流業を実際に目で見て肌で感じてもらうことを目的として、各社物流拠点の見学、座学、現場体験業務、座談会、ビジネスシミュレーションゲーム等、各社工夫を凝らしたカリキュラムを体験する貴重な機会となった。

最終日の午前中は、後援を受ける国土交通省(総合政策局 物流政策課 平野企画官)より、「物流政策について」と題し、「物流政策の推進体制」や「物流を取り巻く状況変化」、「新たな総合物流施策大綱と施策例」、「震災時の支援物資輸送」について講演が行われ、聴講した学生との間で物流の業界の趨勢や、新技術(IoT, BD, AI等)の活用による“物流革命”に関し活発な質疑があった。

講演後、本インターンシップ4日間で各人が得た知識を持ち寄って、参加学生間の情報共有を目的として、物流業をテーマとした企画提案型のグループワークが行われ、活発な議論・意見交換がなされた。

同日午後の座談会では、参加企業若手社員との交流の場として、物流いいとこみつけ隊を含む参加企業スタッフ総勢 44 名が、1 名～2 名で学生 5 名程度を担当する座談会をローテーションで 6 回行い一人ひとりの学生の様々な質問に応答し、交流を深め、5 日間の全日程を終了した。

参加学生からは本インターンシップを通して、実際に物流施設を見学・体験することで物流業への理解が深まる良い機会となったとの声が多く上がっていた。

今後は、「物流業界インターンシップ」の継続事業として来年 1 月に予定される、「第 4 回物流業界研究セミナー」の開催に向け、鋭意準備を進めていくこととしている。

(一社) 日本物流団体連合会
第 4 回物流業界インターンシップ 事務局 齊藤

TEL: 03-3593-0139

【9月4日オリエンテーション】



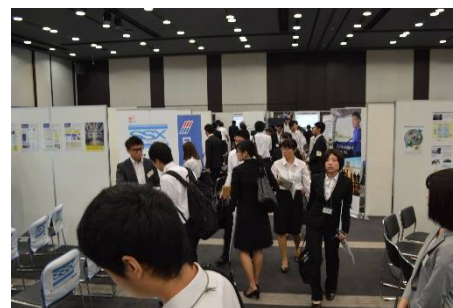
与田理事長 開会の挨拶



松田事務局長 物流総論



物流いいとこみつけ隊によるメッセージ



業界研究セミナー

【9月5日～9月7日 企業訪問・体験】



(株)丸運



鈴与(株) (8月28日実施)



JR 貨物(株)



濃飛倉庫運輸(株)



花王ロジスティクス(株)



日本郵船(株)



セイノースーパーエクスプレス(株)



ヤマト運輸(株)



(株) ナカノ商会

【9月8日 講演会・グループワーク】



国土交通省 平野企画官



グループワーク



発表会



松田事務局長 閉会の挨拶